

病院外が

ゲーム本編の清水文香について

ダンマギ(無印)で
主人公が夏休みに
知り合うのが
文香である

イベント名は
〈最後の瞬間を、君と〉

彼女を中心として
描かれたイベントは
『やるせない』に
特化したシナリオで

主人公との
出会いと
交流から

最後の時を
穏やかに
迎えるまでが
描かれている

攻略可能な
ヒロインではなく
サブキャラクターの
一人であり

本編でも
公式設定でも
最後まで
名字不詳のまま

最愛の
家族だった
弟が
最近精霊に
襲われて…

主人公達は
必死になって
文香を治そうと
駆けずり回るも

彼等らの
奮闘虚しく
文香は
帰らぬ人と
なってしまう

その身を蝕む
『呪い』に
よって……

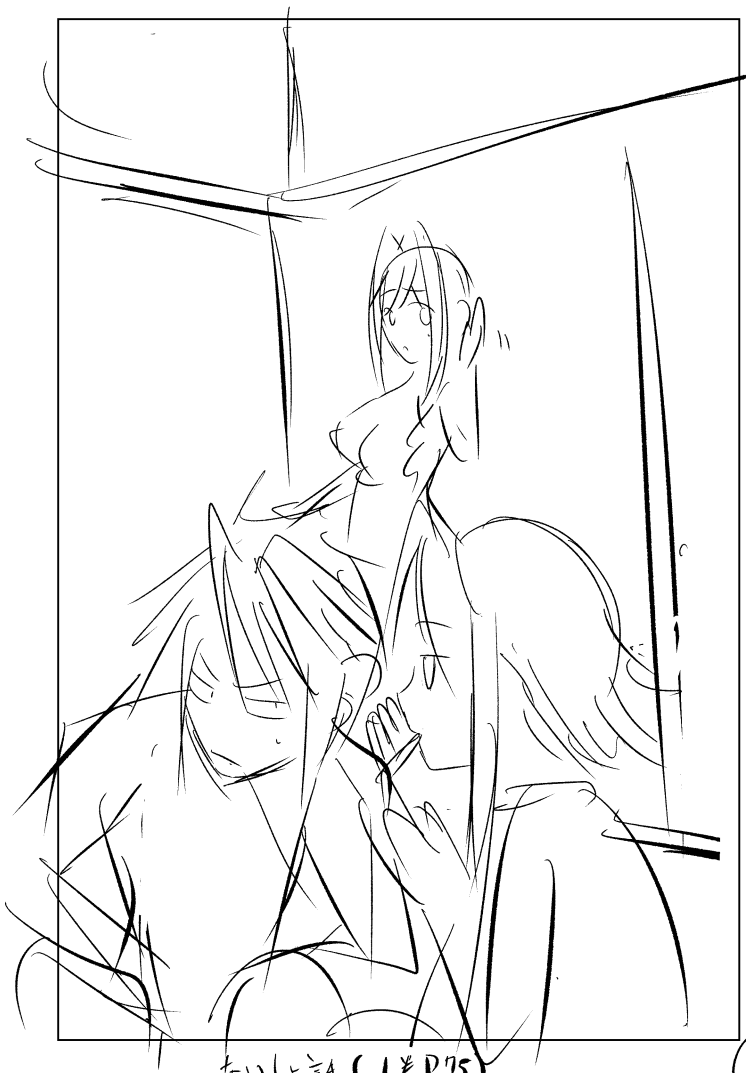
神様に花を
供えてください

私にはもう

出来そうに
ありませんので



ゲーム本編の清水文香について-了-



ナイシヨ話なら
お姉ちゃんも仲間に
入れて下さい

置いてけぼりは
さみしいです

これは失礼
致しました
姉上様

ご心配を
なさらずとも
彼と私は

姉上様の
危惧するような
関係では
ありません

では
どのような
関係だと?

そうですね…
端的に
申し上げる
ならば――

!?

キヨウ君
それは本当
ですか!?

え……?

あ…ウン
ソウダネ

私が適当に
話を作るので
合わせて下さい

彼は

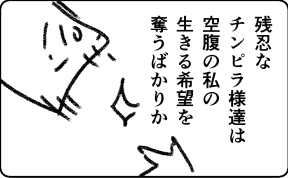
記憶喪失の私に
生きる希望を
与えて下さった
命の恩人です

絵本ほく





心ない
チンピラ様達が
現れたのです



残忍な
チンピラ様達は
空腹の私の
生きる希望を
奪うばかりか



愛らしく
可憐な私を
握おうとまで
したのです



彼はそれを
阻止しようと
立ち向かうも
多勢に無勢



瞬く間に
ズタボロになる
命の恩人の
姿を見せられ



激しい怒りを
感じたその時





みなまで
言わなくても
大丈夫です
キョウ君！

その子は…
アルちゃんは
ウチで引き取り
ましよう！

う…
ぐすっ
そんな…！
そんな壮絶な
ドラマがあった
だなんて！



ご心配
なさらず
マスター

人が良すぎて
心配になる

都合よく信じて
くれたのは
ありがたい限り
なのだが



姉上が都合よく
納得されたのは
『死未』の血筋故
のこと

太古の契約より
私と彼らの関係は
祭られる者と
祭る者

神社

私の言葉は
彼らにとって
神の一言に
他なりません

つ……
つまり？

私のお願いは
何でも聞かし
何でも信じます

もっといえ
無条件で
私に好意を
持ちます

怖ッ!!

またナイショ話
ですか？
混ぜてください

家外観

ご安心
下さいまし

この家を
どうこうする気は
微塵もありません

それ！
俺にも
効くの？

マスターが
約束さえ
守って下されば

私は忠実な
従者として
振舞いましょう

家はどうか
しましたか？

もしかして俺は
邪神を野に
解き放って
しまったのでは？

…まあいい
今は
それよりも

それって
裏を返せば
……

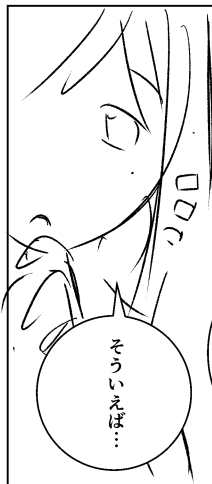
どうして
お腹が
いまい
家
増え
うれい
です



先程の話で
チンピラさん達を
撃退した力ですね



あ…ウン
ソウダネ



帰ってきた時
いつも以上に
服はボロボロで
驚きました

大きな
怪我らしい怪我は
無かったですよね

実際は
チンピラなんて
可愛らしいものでは
なかったのだが……

がやがや

…本当に
よく五体満足で
帰ってこれたよ

ゲーム知識と…
俺の中の凶一郎…
お前の強い意志の
お陰だな

俺達の願いが
これで叶うと
いいんだけど

で…
提案なん
だけど

最近の姉さん
体調を
崩すことが
多いでしょ？

良ければ
一回アルに
診て
もらおうよ

それは
願ってもない
ことです……

……少し
眩しいかも
しれませんが

目を瞑って
いて下さい

はい……

時空間を
自在に操る
時の管理者
である

アル^{アル}テーマ
超神級である
ヒミングレーヴァ
・アルビオンが
司るのは
『時間と因果』

アルの力で
時間を戻す…

つまり
姉さんを
呪われる前の
状態に戻す

その為に
ゲーム知識を
フル活用して
裏ボスと契約を
したんだ

頼む……
どうかうまく
行ってくれ

1〜3話までの

文書 いっぱい

姉さん

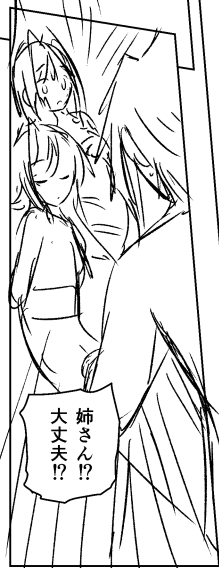
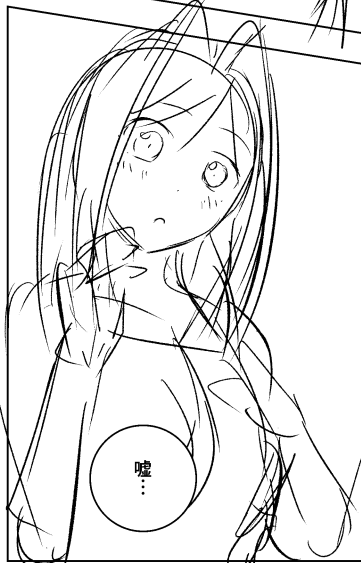
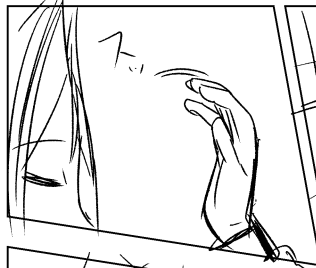
姉さん
姉さん
姉さん姉さん
オレの
たった一人の家族

オレはなんだって差し出すから

だから神様お願いします

光 おさまる

オレの家族を助けて下さい



息苦しく
ないです

身体も
すごく軽い
ああ……

空気がとっても
美味しいです

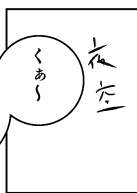
そのクソツタレな
悪魔の筋書きに
一矢報いることが
出来たんだ！

俺達に
降りかかる
死の運命

キョウ君？

やった……
やった……！

ああ……



先程
姉さんの
快復と

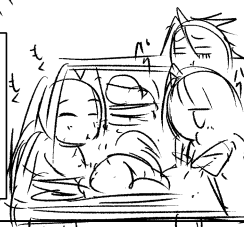
アルの歓迎を

兼ねた

小さな宴が
行われたが

半ば二人の
大食い大会
であった

文香さんって
本調子だと
あんなに
食べるんだな



今度は俺が
約束を
守る番だ

……改めて
本当に
ありがとうな



そのことに
ついて
なのですが

差し迫って
一つ……
大きな問題が
あります

マスターの
実力が
へっぽこ
過ぎます

そりゃだつて

素体は凶一郎で

根っこは
たのダンマギオタク
異世界の一般人

へっぽこに

決まってる

けどさあ!

も……
もつともな
意見だが
そこはほら

別の
優秀な奴と
契約を
結び直して

俺は
協力者ポジ
として
手伝えば

それでは
契約違反と
なります

貴方達『姉弟』に
降りかかる
死の運命を
回避すること

その条件で
私はマスターと
契約を
結びました

しかし現状
私は清水文香
清水凶一郎の
双方を――

救って
おりません

ん？

あのさ
ヒミングレーヴァ

そこ双方を
救って『は』
おりません
だろ

お前の言い方だと
まるで姉さんも
救ってないみたい
じゃないか

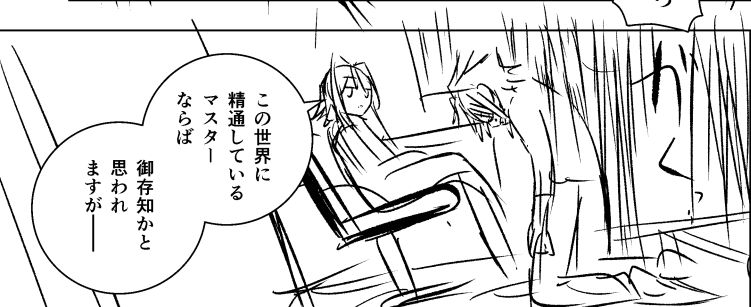
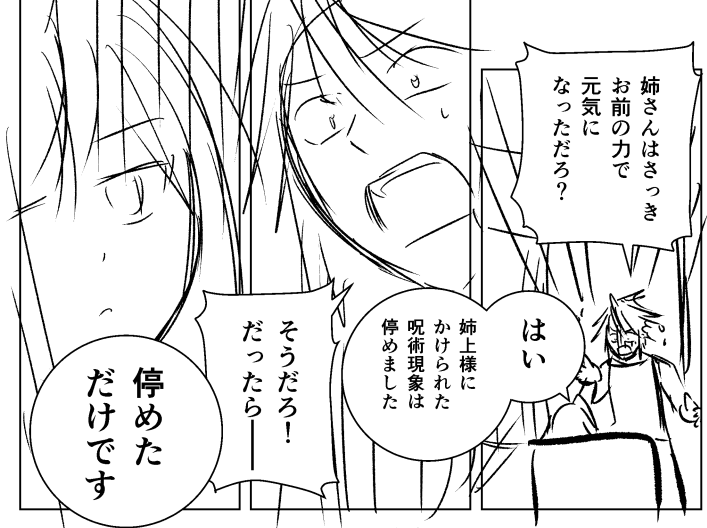
そう
ですよ

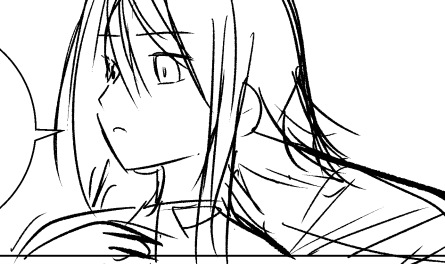
私に
課せられた
契約義務は

未だ
貴方達二人に
対して
有効です

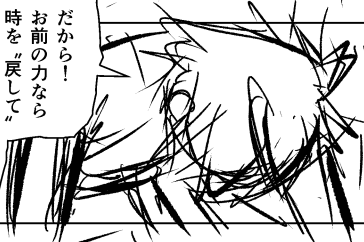
それと
アルと呼び
下さいまし

ちょっと
待てよ……!





私の能力特性は
『時間操作』と
『因果律の改変』
です



だから！
お前の力なら
時を“戻して”

全部無かった
ことに
出来るんじや
ないのか



イエスでも
あり
ノーでも
あります



この問題は
マスターの
実力が

へっぽこで
あることに
起因して
います



じく



アステル
精霊レベル
か……!?

『精霊大戦
ダンジョンマギア』
というタイトル名が
示す通り

ダンマギの
戦いの主役は
精霊であり

2話
アル
契約
カット

彼らの力を
借りながら
契約者は
それぞれの目的を
果たしていく

① 実際ゲーム上では
契約した精霊を
レベルアップ
させる事で
ポイントを獲得し

② ポイントを
割り振ることで
精霊本来の力が
それに応じた分
解放され

③ ステータスの補正や
専用スキルといった
精霊の恩恵を得る

それが
精霊レベル
ダンマギにおける
成長要素の総称だ

スキルボードはく?



『時間停止』を行えたのはそのスキルが

今の俺との契約でもすでに解放されてるから

って
理屈でいいのか？

はい

現状
ほぼ私の力を
使えない状態
であります

解放領域にある
機能に関しては
問題なく
扱えます



甘かった……



……
成程……



ただし
『戻す』のような
応用的な機能を
解放する為には

相当数の
経験値が
必要となる
でしょう

精霊
ヒミングレーヴァ・
アルビオン本来の
力を以てすれば

時間逆行も
因果律の改変も
容易であるが

い^わゆる
初^め期^的状^態の
清水^{ハル}凶^一郎^と
契約を結んだ
精霊アルには

そこまでの
能力を
行使する権限が
ない……

ニヤ
P51

要するに
ゲームシステム同様
彼女がこの世界に
及ぼせる影響は

俺の精霊レベルに
依存したものに
なっている
ということだ

姉さんを蝕む
呪いへの措置は
『時間停止』
のみで

呪い自体は
残った
まま……

加えて――



大急ぎ中



冗談じゃない
そんなのは
真つ平ご免だ

じゃあ
どうする？

俺がこの先
生き残る為には
チュートリアル
の中ボスになっては
いけない

ゲーム本編の
主人公に近づかず
死なないように
やり過ごす……？

それも
無理だ

凶一郎が
主人公達を
襲った動機は
今の俺なら
わかる

それは
彼の仲間の一人に
解呪しうる人物が
いたからだ

誰
P1. ゲーム
凶一郎

しかし
それならば
力を借りたいと
頼めばいい

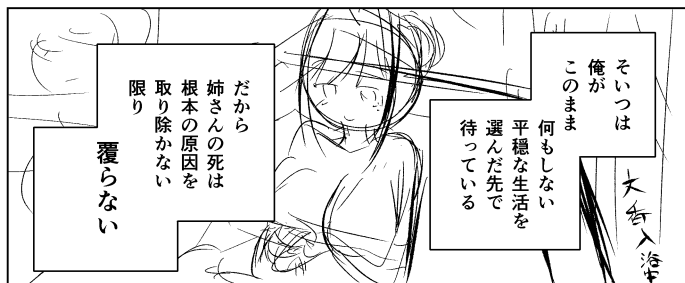
凶一郎が
あんな暴走した
原因は別にある

ソレは
もっと具体的に
ルールがあり
害悪と悪意を
伴う現象

無印の元凶
とも呼ばれる
“その現象”が
蔓延した時

俺は必ず侵され
望まぬ凶行へと
走るだろう

全ては俺が弱いから



弱いままでは誰も救えないし、俺自身も救えない

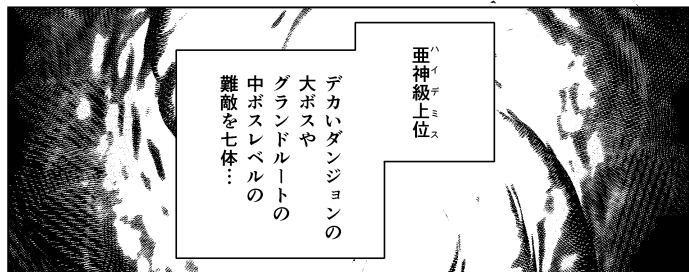


弱いから、弱いから、弱いから——



“時間を戻す”を
取り戻すまでに
かかる費用は？

概算で
亜神級上位
以上の個体を
七体ほど



ハイデミス
亜神級上位

デカイダンジョンの
大ボスや
グランドルートの
中ボスレベルの
難敵を七体…



……なら
正攻法で
行こう



それは
無理だ
知識だけで
どうにかなる
レベルじゃ
ない

でしょうね…
私も
そう思います

この世界には
どんな傷も病も
治療できる
物があるよな

エリクサー
万能快薬や
願望器とか……
それを行く

エリクサー

グリーン

いずれの品も
手に入れたくば
社……

ダンジョンの
中へ
赴く他
ありません

ダンジョン
風景

そうなると
冒険者の資格の
取得がマスト
だな

今って冒険者の
肩書がないと
ダンジョンに
入れないから

私が起きて
いた時から
そうでしたよ

えっ
そうなん？

少し
ほほえま

弱いままじゃ
死んじゃう

弱いままじゃ
姉さんを
助けられない

だったら

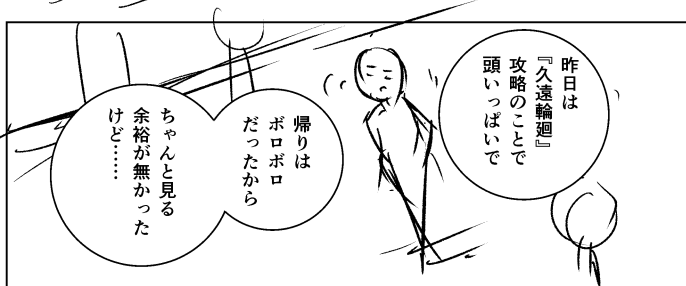
解は
一つです
貴方が
強くなれば
いい

となれば
まずは明日から
修行だ！

街をはいかい



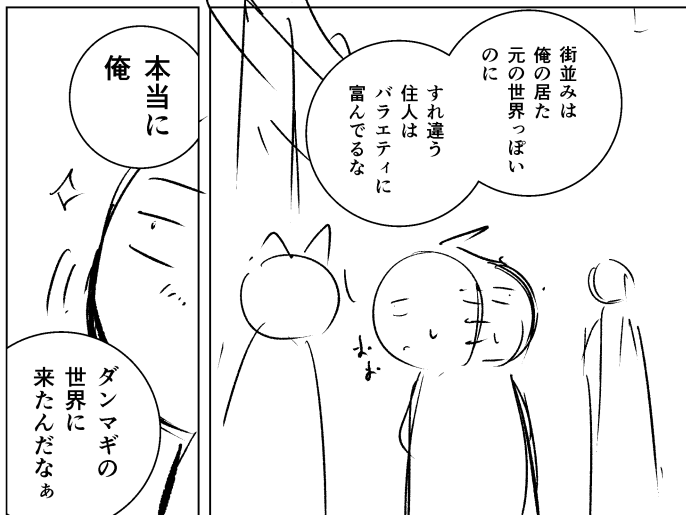
翌日
修業を
始める前に
俺は――



昨日は
『久遠輪廻』
攻略のことで
頭いっぱい

帰りは
ポロポロ
だったから

ちゃんと見る
余裕が無かった
けど……



街並みは
俺の居た
元の世界っぽい
のに

すれ違う
住人は
バラエティに
富んでるな

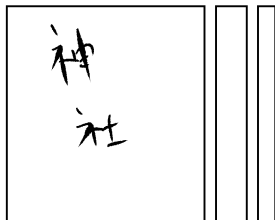
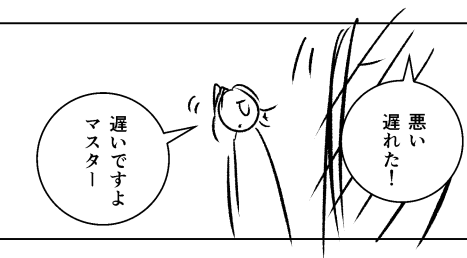
本当に
俺

ダンマギの
世界に
来たんだなあ

ケモノ耳とか



……小一時間後……



七三、メカネ

誰だコイツ

てつきり
不審者か
と思いました

心機一転
真面目な
凶一郎を
目指すぞ！

少しでも
いい未来に
なるように